

(2) インフルエンザ及び感染性胃腸炎の発生状況(表13、図4参照)

令和6年シーズン(令和6年6月下旬～令和7年6月下旬)の特徴。

インフルエンザは、11月下旬から患者報告数が増加し、1月上旬に流行のピークとなった。患者報告数は令和5年シーズンに比べ大幅に少なかった。

感染性胃腸炎は、4月から6月にかけては例年に比べ多い患者報告数であったが、シーズンを通して大きな流行は無かった。

表13 インフルエンザ及び感染性胃腸炎の発生状況

インフルエンザ(単位:人)					感染性胃腸炎(単位:人)				
	東部	中部	西部	県計		東部	中部	西部	県計
令和元年シーズン	1,929	1,356	1,640	4,925	令和元年シーズン	1,734	1,122	1,261	4,117
令和2年シーズン	0	0	5	5	令和2年シーズン	1,087	622	1,218	2,927
令和3年シーズン	0	0	3	3	令和3年シーズン	1,727	1,120	1,310	4,157
令和4年シーズン	817	314	731	1,862	令和4年シーズン	2,258	1,319	1,335	4,912
令和5年シーズン	4,758	4,217	5,198	14,173	令和5年シーズン	2,115	1,225	1,332	4,672
令和6年シーズン	2,446	2,392	2,663	7,501	令和6年シーズン	2,272	1,290	1,384	4,946
6年シーズン平均	1,658	1,380	1,707	4,745	6年シーズン平均	1,866	1,116	1,307	4,289

※当年6月下旬～翌年6月下旬

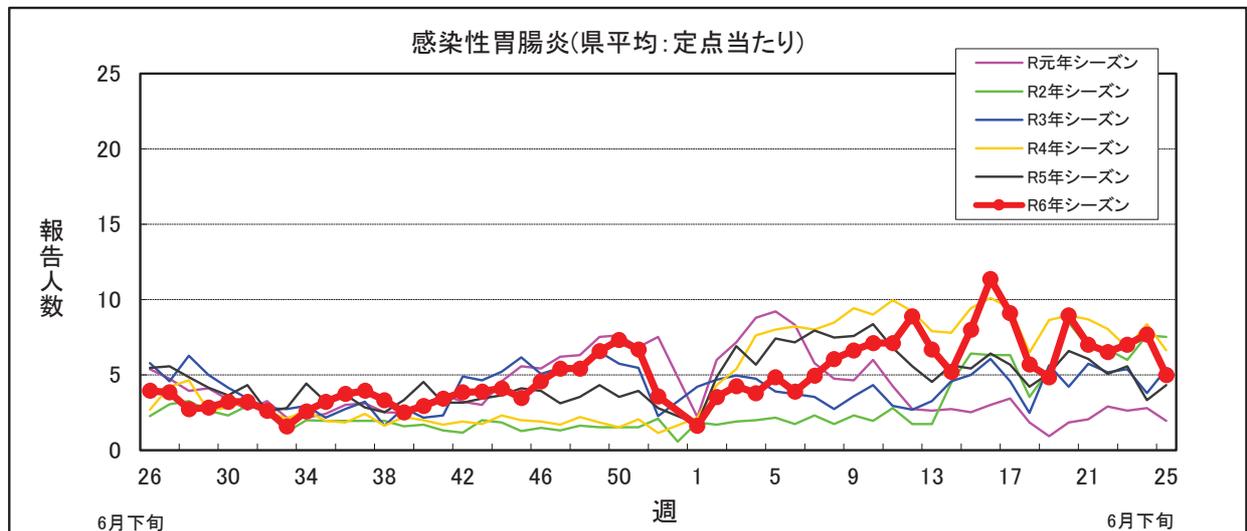
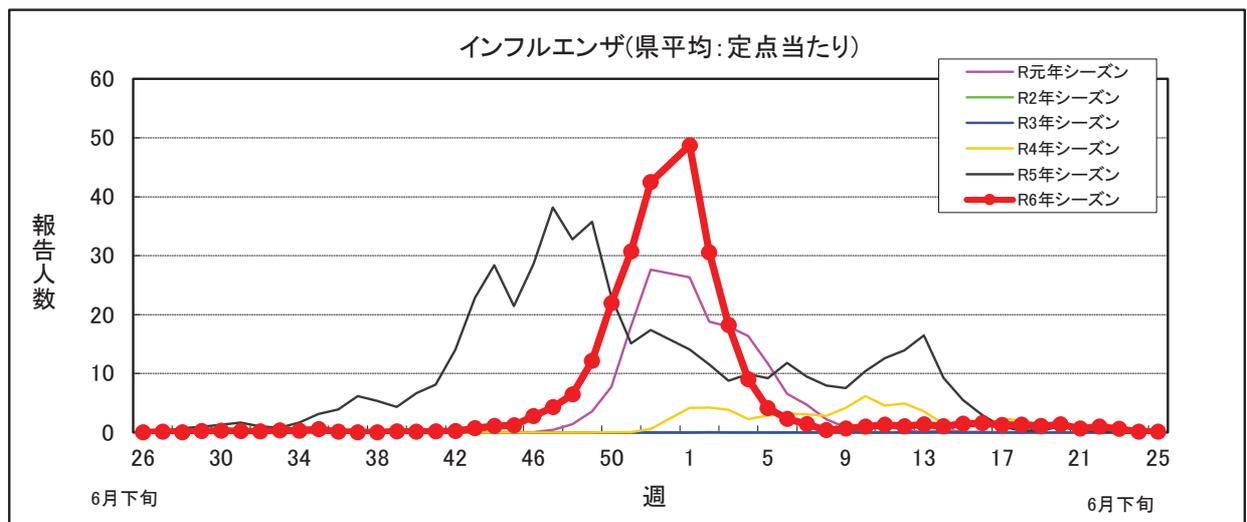


図4 インフルエンザ及び感染性胃腸炎の発生状況